

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.128

# 2

1974  
FEB.

冬のSLをファミリーで楽しもう  
YAMAHA SNOW MOBILE



便利さで、経済性で売れる二輪車

'74  
New Model

新発売

ヤマハチャピイLB50-II・H

ヤマハスポーツRD 50

ヤマハYZ 125 (モトクロスサー)

## 2月のヤマハ

健全なモータースポーツの世界を広げるYAMAHA  
50cc.需要の拡大で経営基盤の強化へ

冬来たりなば、春遠からじ——。月並みな言葉ですが、二月四日は立春。暦のうえでは春を迎えたこととなります。

昨年来からの暗い話題をふきとばして、明るい春のシーズン開けとしたいものです。

幸い、二輪車は省資源、省エネルギーの乗物として、評価が高まってきております。

こうした時機にこそ、日頃に蓄積していた商圏の分析が大きく役立ちます。一台、一台を確かなご商売にして、春の商戦をリードしてください。

ヤマハも、新しいPR活動をはじめ、各種のセールスキャンペーン、新製品の開発、スポーツレジャーの振興など、よりよい市場環境づくりでみなさまにご奉仕いたします。

### ●ヤマハ発動機株式会社

〒438 静岡県磐田市新貝2500番地 <05383>(2)1111(大代)

### ●北海道ヤマハ

〒063 札幌市西区24軒1条7丁目35 <011>(64)2711

### ●仙台支店

〒983 仙台市日の出町3丁目8-36 <0222>(94)6121-6

### ●東京支店

〒104 東京都中央区銀座8丁目9-13 <03>(572)2021  
(銀座オリエントビル)

### ●名古屋支店

〒462 名古屋市中区辻本通2丁目34 <052>(913)2121

### ●大阪支店

〒550 大阪市西区北堀江通4丁目27 <06>(538)7331

### ●四国支店

〒760 高松市松島町3丁目22の9 <0878>(31)1661

### ●九州支店

〒812 福岡市博多区博多駅中央街8番36 <092>(41)3606  
(博多ビル)

### ●広島店

〒734 広島市東區町3丁目16の8 <0822>(82)4111

### 〔表紙のことば〕

ことしの天候は徹底した冬型。カラカラ天氣の太平洋岸側に対し、裏日本側は記録的な降雪量が伝えられ、先年の雪不足がまるでウソのよう。そして白一色の銀世界で活躍しているのが「ヤマハスノーモビル」です。

積雪地の交通の足として、スノーモビルほど機動性に富んだ乗物はありません。「ヤマハスノーモビル」が登場して6シーズン。いまではすっかりお慣じみの商品として、雪のスポーツレジャー用として家族ぐるみのヤマハファンをつくっています。

# 便利さで 経済性で 売れる二輪車

—— ことしの商戦をめぐる ——

西と東の販売店会議から

波乱含みのうちに迎えた新しい年'74年。

全国各地の市場では、流動めまぐるしい社会環境のもとにも、なお安定した繁栄をめざして厳しい商戦が展開されています。

ヤマハでも、激動の年といわれるこの'74年をいかにしてきりぬけ、安定成長の年とするかに、販売店のみなさまと一体となつての諸政策がすすめられています。いま、各地でひらかれている販売店会議もその一環。

ここに、西と東で全国に先がけて行われたヤマハ兵庫株式会社、ヤマハ栃木株式会社主催の販売店会議から、フレンド店のみなさまと共に'74年にかかる抱負をご紹介します。



# 74にかける フレンド店さんの抱負

## ことしは、 一台一台を大切に売ろう！

今井商会(神戸市)

今井 康雄社長



昨年度の販売実績日本一を誇る今井商会さんは、さすがに大変なご商売熱心。いつの時代にもビクともしない独自の商哲学をお持ちです。

私はこれからのオートバイ販売について決して悲観的ではありません。厳しい社会環境は逆に私どもが商売本来のあり方に立ち戻るよい機会だと思っています。

今までは一台でも多く売ることに主眼をおいていましたが、こうした状況を契機に、一台一台を大切に売りたいと思います。

割賦販売の金利についても、正当な利益を得るよう、すでに独自の方針をたてています。他のフレンド店さんとの横の連絡を密にして、より適正な金利をうち出したいものです。こんな時代ですが、優秀な技術、お客さまに対する説得力のある会話など、勉強努力さえ怠らなければ、今まで以上の成果は必ず上げられるものと確信しています。より効率の

高い商売を心がけて、今年も張り切ってやっていきます。

## お客さまとともに堅実に！

石屋モータース(神戸市)

川元 光一さん



オートバイ店と牛乳店を立派に両立させている川元さんは、24才という若さに似ず大変な働き者。モトクロス・ライダーから販売業に進出したのが昨年とのこと、牛乳販売の仕事が暇になる昼の時間を、オートバイを売ったり修理をしたりと、寝る暇もない忙しさ。今のところ、お店も牛乳店と半々で、決して立派とはいえませんが、レース仲間がひんぱんに訪れ、またその友達が集まるといった具合で、お店は若者でいつもにぎやかです。

まだコレといった特別のことは考えていません。ただただ一所懸命にやってきた昨年ですが、お店に集まってくれる若い人達と一緒に、今年も頑張っていきたいと思っています。うちのお客さまは、若い人が多いのでスポーツ車関係に力を入れて伸ばしていきたいと思っています。そして、着実に「健全なモータースポーツの世界」を確立していくつもりです。

店も大きくしたい、サービスも徹底させたい、やりたいことはたくさんありますが、こんな時代ですからひとつひとつしっかりやるつもりです。



ヤマハ発動機・大阪支店

渡辺 敏支店長あいさつ大要

基盤の脆弱な日本経済は、今回のオイルショックのようにひとたびコトが起こると一八〇度方向を転換してしまう、というように方向性の非常に読みとりにくい状況にあります。こうした中では、当然メーカーとしてはよりよい商品を生産し、お店のみならず適確な情報とともに届けたいことがさらに重要です。こうしたことがメーカーもフレンド店のみならずお互いどんな逆境をも乗り越えられる体質を身につけることにつながるものとなります。

需要動向についても、一昨年発表された昨年度の国内二輪車需要の予想は、五%前後の減少となるだろう、とのことでしたが実際には50ccクラスの伸びを中心に10%近い増加を示しています。

これは需要は絶対的にメーカー、そしてお店のみならずがつくるものである、よりよい商品、よりよい政策を打出していけば需要は必ず上昇するものである、というわれわれの信念を裏つけるものでしょう。

## まずお客さまに安心と信頼を

佐藤モーターズ(宇都宮市)

佐藤 光男社長



こんな時勢だから、こうした対策を……と特別に考えてはいません。これまでと同様ヤマハの方針に沿ってともに進みます。そしてお客さまに動揺を与えないことが、まず大切だと考えています——という佐藤さんです。

ヤマハは、用品、パーツ、オイル等の供給をきわめてスムーズにやってくれています。ですから、ヤマハ党ともいえる多くのお客さまには、「これだけ物が揃っているから絶対安心だ。必要になったらこの店にいつでもある」という安心感を与えることだと思います。

アフターサービスのために、必要なものの確保は、買いだめなどということでは全くなく、お客さまがみえたときすぐに応じられるということからです。この店なら絶対安心だという気持を来店した瞬間に感じさせることが、よい商売の大前提だと考えています。

特にこんな状況だからというわけではありませんが、店舗を拡張します。これは、できるだけ売り場面積をふやし、お客さまがオートバイを選ぶとき、どれでも触れられ、実際にまたいで操作してみることのできるスペースが、ぜひ必要だと思つたからです。

そして、そのお客さまにぴったりのオートバイを見つけていただき、十分納得のうえで

買っていた。これは事故防止にもつながりますし、お客さまにも大きな満足感を与えることができるからです。

一月末から着工の予定ですが、二階には免許教室用の部屋をと考えています。これからは50ccに大きな比重がかかってくるでしょうし、メイトなどはサンダルがわり手軽に乗ってほしい、そのためには手軽に免許を取れる準備をしてあげるのも、われわれの義務だと思つてのことです。

## すべての面で合理化を!

中央モーターズ(神戸市)

福井菊三郎さん



昨年改装したばかりというお店は、店内にバックグラウンド・ミュージックが流れ、鏡張りの壁面の前に豊富な商品が整然とならべられたシャレたお店です。お客さまが買いやすいようにと、長期分割を前から打出し、多くのお客さまを持っています。

こうした時こそ、普段からのお店の体質が一番問題となるんじゃないかな? 今さらあわてても……と思つてます。

たしか43年頃やったと思うけど、やはりこういうダウンはありましたね、しかし当時と比べたらかかる経費がウンとちがう。こうした状況では、すべてに合理化していくほかに、しゃあないんじゃないかな。

日本人は働きすぎだ、とよういわれるけど

またカソリンの高騰、四輪車の総量削減政策、交通規制の拡大などのエネルギー節約政策は、逆にオートバイにとってプラスとなる要因を持つもので、今年も50cc車を中心に二輪車の需要はさらに伸展をみせることでしょう。しかし反面、資材の高騰と供給不足、そして電力節減による操業短縮といった大きな問題もあり、メーカーとしていかに効率よく生産するかの問題から当然少機種・多量生産の方向をとらざるを得なくなることもご理解いただかなくてはなりません。

こうした状況からフレンド店のみなさまにご商売の方向性としてお願いしたいことは、まず効率よく大切に商品売るということです。割賦販売における適性金利の採用も大いに検討すべきことですし、人件費、自動車経費の増大にともなう販売活動の合理化も重要です。そして需要創造活動の積極化ということですね。

特に需要創造活動では原付免許教室の開催をお願いします。これも従来の新規免許取得者に加え、婦人層さらに四輪車からオートバイへという方がたまでをも潜在需要としてとらえた積極的なアプローチをお願いいたします。また、若いお客さまを対象とした各種スポーツ教室も、フレンド店のみならず、若者の健全なモータースポーツの世界をひろげるものとして、ぜひご活用いただきたいものです。いずれにしましても、ヤマハが、そしてフレンド店のみならず、これまでさまざまな苦しい場面を培ってこられた体力は、逆境といわれることしのようなときに真価を発揮するものです。

決してひるむことなく、積極的なご商売を展開されますようお願いいたします。

ただドラダラしとってホンマに働いているのとちゃう。そやから一人当りの生産性を、もつと効率的にしていかなと。諸経費のかかりすぎを極力カットして、しばらくは事態の変動に即応していこう、こう思っております。

## レジャーバイクにも焦点を

(南高虎輪業(宇都宮市))

高橋 輝代表



若いお客さまを中心に、着実に商圏を拡大し、育ててきている高虎輪業さん。ことしはレジャーバイクの拡販にも力をいれ、さらに大きな飛躍をめざしています。

私の店では特にトレール車が好評を博し、90ccから250ccまでが順調な出足をみせ、また大型のスポーツ車も若い層の人氣が集まって、ことに定時制に通学している高校生の方がたに広まっていった、というのが昨年までの状況でした。

反面レジャーバイクに、多少伸び悩みという感もありましたが、ジッパイ、チャビイいずれも非常におもしろいオートバイですし、特にいまのような時代ですから、ことしはこのへんに焦点を絞ったキャンペーンを展開しようと考えています。もちろん、扱いやすいメイトを通勤や実用に使うお客さまに極力アプローチすることも、ことしの重大な方針となってくるでしょう。

さらにアフターサービスについては、サ一

ビスの迅速化が最も大切だと思います。時間のサービスというか、お客さまはその場で、すぐにでも直してほしいと思っておりますからどんな場合でも、できるかぎりすみやかに応じられるような態勢づくりです。このためには全車に精通していなければなりません、今日の会議で話のあったサービス研修会にも、大いに期待しています。

## ことしも、ヤマハとともに

(松浦輪業(宇都宮市))

松浦 勝一社長



自転車店に十一年勤め、四年前に独立、オートバイ販売にのりだした松浦さん。ヤマハと共にドンとコイノの意気込みです。

すべて自分で納得しながら商売を覚えてきたわけですが、それだけに自分の売る車には絶対の自信を持っています。お客さまは、近くの農家の方やサラリーマンの方の通勤用ですが一人一人のお客さまを大切にしたい、ヤマハを売ってきました。どちらかというと、商売を売った職人といったところで、商売のやり方はヤマハのセールスマンの人に親切に教えてもらいました。いつもよい相談相手になってくれ、適切な判断をしてくれますので、こんな時勢では大きな頼りです。

ヤマハの方針は、今日のフレンド店会議でよく理解できました。私はもちろん歩調を合わせて進みます。



ヤマハ発動機・東京支店

伴野喜代三郎支店長あいさつ大要

昨年は晴のち曇のち雨、といった変化に富んだ年でしたが、今年は公害等の環境問題をはじめ、資材不足からインフレに拍車がかかり、経済問題はじめ資源、政治、文化、社会全般にわたって日本の基盤を根本的に考え直さなければならぬという、新しい決意でスタートしたわけですね。

国際情勢も資源の有無で各国が評価を受けるようになり、GNP第二位を誇っていたわが国の立場は逆転、いきおい引締め政策によってインフレを是正していかなばならぬという厳しい状況に直面して、これをどう乗り切ることが問われることになったのです。

幸いわれわれの業界では、二輪車は不況に強く四輪車ほどの大きな落ち込みはないといわれますが、それでも資材不足や電力節減という大きな問題をかかえ、これに対処していかなくてはなりません。

現在の店は、スペースが小さく住宅と一緒に、よそに土地を買ってあるので住い移し店をなおしたいと思っています。

それと、お嫁さんをもらおうかとも考えています。そうしたら店も多少きれいに、また明るい感じになり、引っ込み思案の私をカバーしてくれるんじゃないか……。これは対策というわけではありませんが、こんな状況に対する希望の観測とでもいいでしょうかね。まあ、どんとコイ、おれはヤマハの意気込みです。

## 従来どおりの堅実商法で!

ブラザーモーターズ(尼崎市)

秋田 勇さん



以前から堅実なご商売でうってきたブラザーモーターズさん。それだけにお客さまの信頼も厚く、長いおつきあいの方が多くようです。今までどおり堅実な商いを守っていけば、いまのような事態も十分乗り切っていける、といった力強い自信のほどが感じられます。

うちの場合、これまでも値引きなどはありませんし、お客さまも信用のおける方ばかりなので、契約書による割賦販売が多くなっています。

この場合も、店から集金に向くというより、だいたいはお客さまの方から期日までに持参してくれます。いままで通り堅実な商売を守ってあげれば、ことしもガッチリ行ける

と思っています。

## トレール、

## スポーツにも力を!

ミノル商会(尼崎市)

松本 実さん



ミノル商会さんのある尼崎市には大きな中古車市場があり、値崩れなどによるご商売のやりにくさは相当なものだそうです。

こうした中で、昨年からお客さままでツーリングクラブを結成。松本さんも毎回参加してお客さまとの連携を深めています。立派な店舗の中には、ニューヤマハがぶらりと並んでいました。

ここは、ついそこに行けば中古屋さんがあるやろ、商売は非常にやりにくいんや。口では簡単にいけどよけい売って、よけいもつけるというのはむずかしいことぞんない。今年量は量より質でいこう思ってますね。一台、一台で確実に利益をあげていくということですね。メイトなど50ccクラスの需要増は、かなり期待が持てるので、うちとしてはDTシリーズなどのトレール車、スポーツ車に力を入れていこうと考えてます。

いま一緒に店をやってる弟(23才)をメカニックの研修コースに行かせたいと思ってるし、そろそろ店も持たせなくてアカン。二三年は、しんどい感じですが、がっちり商売していくつもりです。

ことに電力は生産に大きな比重を占めているところから、本社、浜北両工場とも電力使用をライン最優先で生産を続けております。また資材問題でも、昨年末からのコスト高騰は予想をはるかに上まわるもので、資材の確保は容易な問題ではありません。

これらのことから製品の不消化はやむをえず、商品の回転はいきおい早まり、多機種で、一機種当りは少数という生産方向はとりえなくあります。

こうした中でフレンド店のみなさまには、商品を大切にしながら売って行く、ひとつひとつを大事に売って、キチンキチンと利益をあげていくといったご商売のやり方をお考え願いたいのです。

そのためには計画的に売っていく、計画的に仕入れるという方向性、当然メーカーも計画的にお店のみなさまのご要望にお応えして生産していくというように、日本全体が原点に立ち返った姿で回転していかなければならないと思います。

また、お客さまに満足してお乗りいただくためにも、フレンド店みなさまの技術力をさらに高めていたきたい、このためにヤマハでは技術関係の講習会を行なう予定です。

さらに、今年の傾向として小排気量車の伸びが期待されますが、この機に積極的に免許教室を開催して拡販に結びつけていたきたいと思えます。

いずれにしても「守りながら攻める」といったように、厳しい状況を前にしているいまでもやり方さえ間違わなければ大いに伸びるチャンスはあるし、確実に利益をあげる事ができることをつねに念頭におき、きつちりとワキを固めて緻密なご商売をされることをお願いいたします。

よつこそで日本へ

# モトクロス世界GP ヤマハトリオ来日

モトクロス世界GP 73シリーズの250cc級チ  
ャンピオン・ハカン・アンダーソン、同500cc  
級3位、4位のシャーク・バン・ベルソーヘン、  
エーク・ヨンソンの三選手が、一月二十四日、  
ヤマハ本社の招きで来日した。

イクスヤマハのテストにあることはいうまで  
もないが、国内報道関係者との記者会見も予  
定されており、そのみごとな走りっぷりを公  
開することにもなっている。

シーズン開幕を直前にして、YZ125、YZ  
250のPR、そしてニューDTシリーズの販売  
促進にも大いに役立つニュースとなろう。



## ヤマハモトクロストリオの横顔

### ★ハカン・アンダーソン



モトクロス王国スエ  
ーデンの代表的な名ラ  
イダー。

ベテラン、トルステ  
ン・ハルマン(元チャンピ  
オン)の指導をうけて腕を磨き、ハスクバーナのワ  
イクスライダーとして世界選手権250ccランキング上  
位にしばしば名を連ねた。

'72年ヤマハと契約、マシンの開発を兼ねて250ccシリ  
ーズを全期にわたってカバーし、チャンピオンJ・  
ロベールに次ぐ二位の成績を収めた。

'73年は、最初からチャンピオン候補の一人に目さ  
れていたが、モノクロス装備のニューマシン・YZ  
M250で連戦連勝、念願のタイトルを獲得し、みごと期  
待に応えた。

選手権二連勝を狙う今年のタフな活躍がみものだ。  
本年二十九才、レース歴十年である。

### ★シャーク・V・ベルソーヘン



本年二十三才。モト  
クロスの本場ベルギー  
でできた腕の冴えて、  
たちまちスターライダ  
ーの一人になった新鋭  
ライダー。

250cc級のアンダーソン同様、'72年ヤマハと契約し、  
マシンの開発データを得る目的で500cc級タイトルシリ  
ーズに出場した。

ヤマハが本格的なチャレンジを試みた'73年シーズ  
ン、ベルソーヘン、ヨンソンのコンビは、スズキの  
R・デコスター、マイコのW・ポウアー、G・ウォ  
ルシンクなどのライダーとともに、各GPで常に上  
位をマーク、タイトル争いの興味を大いに盛り上げ



★★★★★★★★★★★★★★★★

## '74全日本選手権モトクロス ゼッケン・ナンバー決まる

★★★★★★★★★★★★★★★★

MFJ（日本モーターサイクル協会）ではこのほど全日本選手権シリーズ出走ライダーのゼッケン・ナンバーをきめたが、このうちモトクロス部門はセニアクラスのみで、次のとおり。なお、このゼッケン・ナンバーは前年度の成績により決定されている。

### ●'74ライダー・ゼッケン・ナンバー (MFJ・モトクロス・セニア)

- |    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 1  | 鈴木 | 木都 | 良夫 |
| 2  | 鈴  | 木  | 秀明 |
| 3  | 増  | 田  | 耕二 |
| 5  | 岩  | 尾  | 一敏 |
| 6  | 杉  | 尾  | 良文 |
| 7  | 小田 | 切  | 信雄 |
| 8  | 瀬  | 尾  | 勝彦 |
| 9  | 松  | 本  | 満男 |
| 10 | 川  | 崎  | 利広 |
| 11 | 吉  | 村  | 太一 |
| 12 | 鈴  | 木  | 忠男 |
| 14 | 竹  | 沢  | 正治 |
| 15 | 池  | 田  | 隆志 |
| 16 | 安  | 井  | 光道 |
| 17 | 小高 | 林  | 道雄 |
| 18 | 加  | 藤  | 清丸 |
| 19 | 石  | 原  | 賢一 |
| 20 | 木  | 川  | 泰彦 |
| 21 | 藤  | 下  | 秀清 |
| 22 | 岸  | 関  | 信昌 |
| 23 | 木  | 大  | 正典 |
| 24 | 大  | 石  | 昌美 |
| 25 | 石  | 唐  | 三郎 |
| 26 | 唐  | 山  | 栄夫 |
| 27 | 山  |    |    |
| 28 |    |    |    |



青い目のヤマハフレンドを迎えたモトクロス仲間。右より瀬尾勝彦、唐沢栄三郎、鈴木都良夫、そして左端鈴木秀明の国内セニア選手。

### ★エーク・ヨンソン



スエーデン出身のベテランライダー。以前は西独マイコのワークスライダーとして、500ccタイトル争いの常連

の一人になり、スズキのR・デコスターにとって最も手強いライバルになっていた。  
選手権征覇の経験はないが、米国のトランスAM Aシリーズでは二度優勝している。  
'73年は、ベルソーヘンとチームを組んで初めてヤマハに乗り、500cc級シリーズ全ラウンドに出場した。シリーズ前半はやや振わなかったが、尻上りに調子を上げて終盤のルクセンブルグ、オランダ両GPに連勝、チームメイト・ベルソーヘンに次いでランキング四位に落ちついた。  
'74年にかかるヨンソンの今年こそはの活躍が期待される。

た。優勝こそなかったが、ベルソーヘンは各ラウンドで安定した成績を納め、最終ランキング三位になった。  
'72年までのポイントシステムが適用されたこととタイトルはベルソーヘンがさらったところである。



# 雪のヤマハも高性能 スノースクランブル大会で上位独占

余ゆうしゃくしゃく。モデファイBのヤマハスノーモビルGPX。

雪のモーター・スポーツ、スノーモビル日本をかけて行われる'74全日本選手権シリーズの第一戦、「スノースクランブル北海道大会」(主催MFJ札幌支部)が、一月十三日札幌市郊外のティネオリンピアスキー場特設コースに60台のマシンを集めて行われた。

白、赤、青、色とりどりのスノーモビルがあつまった会場は、ちょっとしたスノーモビル展。国内外のスノーモビルがみられ、それぞれに雪の王者をめざしたが、本番ではヤマハスノーモビルのライダーがつよく、全レースの上位を独占した。

なお、レースは市販車のストック、市販車改造のモデファイA、同Bの三部門各二クラス(340cc、440cc)で、このうちもつとも大巾な改造がゆるされている、すなわちレーシング性能がもっとも高いモデファイBにタイトルがかけられている。

ヤマハでは、このモデファイBにGPX 338およびGPX 433をおくり、伊藤盛男選手が両クラスの優勝を独占した。またモデファイAでは大月信和選手、ストックでは佐野博選手がそれぞれダブルウィナーとなった。

## 速報!!

全日本選手権シリーズ第二戦「スノースクランブル関東大会」は一月二十七日、栃木県・鶏頂山スノーランドで開催された。この大会でもヤマハスノーモビルは群をぬく高性能を発揮、注目のモデファイBでは伊藤盛男選手が330cc、440ccの両クラスを連覇した。



白銀の世界と対象的な青い石狩湾をのぞんでレースはつづく。



モデファイB440ccクラスの表彰式。①伊藤盛男、  
②楠田進、③大月信和、④長谷川正明の各選手。

あなたもトライアル・オブザバーに

YAMAHA Trial

# 競技役員講習会ひらく



「これがセクション・アウトのカードです」用意された各種のツールをもってトライアルの説明がつづく(講師は中島MF)トライアル競技役員)



きょう一日の成果を、オブザーバー認定のテスト用紙へ……。



戸外に出て、セクション用の地形を踏査



どういふふうのセクションを設けるか、各自につくってみる。



そして実際にトライアルしてみる。そして互いに採点し合う。

新しいモータースポーツ「トライアル」が各地で人気をあつめています。とくに、「ヤマハトライアルTY250J」の出現は、トライアル熱を加速度的にもりあげて、ヤマハの知名度を大いに高めています。

M F Jのスポーツカレンダーも間もなく発表される予定ですが、今年は二百件を超える公認競技の申請がだされているとか。とにかくトライアルの人気は急伸しており、それだけに「TY250J」の本格発売、SLトライアル教室の開催には大きな期待がもたれているわけです。

こうしたことから、オブザーバーの育成も積極的にすすめられており、一月十九日にはまず仙台支店において、M F J公認によるオブザーバー講習会が開かれました。

当日は、小雪が舞う寒風のなかを、東北各県より二十五名の受講者が参加、「トライアルの魔術師」と呼ばれるミック・アンドリュウ選手とのトライアル映画で、本場ヨーロッパのトライアルをじっくりと味わったのち、佐藤幸雄M F J東北地方本部事務局長の出席のもとに座学、セクションづくりの実際、オブザーバー認定試験など、一連のスケジュールがすすめられていきました。

戸外でのセクションづくりには、Y G S F杯争奪トライアル選手権大会で優勝、全日本選手権でファーストクラス6位にランクされた畑山和弘選手が特別参加し、その妙技を披露、これを受講者が採点するというミニ・トライアル競技の展開で、すぐ役に立つオブザーバー技術を身につけたのです。

# 4段変速機つきの チャピィ50-II・H



新しいデザインと乗りやすさで好評のチャピィ50に、4段変速機+ハンドクラッチ式の「チャピィ50-II・H」が登場しました。

スピードのコントロールをエンジンのパワーにまかせてイージー・ライディングが楽しめるオートマチック式にくらべ、今回市販に入るハンドクラッチ式は、エンジンのパワーを能動的にひきだせることで、スピーディーな乗り味がセールスポイントになる魅力の商品です。とくに、これまでにオートバイの乗車経験をもつ四輪ドライバーの人にはうってつけの商品といえるでしょう。

カラーリングも、チャピィレッドのほかにチャピィイエローを加えて、いよいよ売りやすさを増しています。ジッピィとあわせてどうぞお店の有力な商品に育ててください。

●4段変速機は初心者にも扱いやすいロータリー式で、チェンジベタルも操作性のよいシフト式としてあります。●クラッチは湿式多板式で、一般のオートバイと同様にハンドル左のレバー操作です。●変速機構の変更により、エンジン・デザイン、とくにクランクケースカバーが一新されていることにご注目ください。●ク

ラッチレバーの新設にともない、リヤ・ブレーキは右足操作のロッド作動式です。●前後輪フエンターは鋼板製で、クロームメッキ仕上げとし、またマフラーカバーは穴あきのブラック仕上げです。●性能は加速性能が向上しているほか、最高速度が10km/hアップしています。

## 主要諸元

全長	1570mm
全巾	665mm
全高	925mm
軸間距離	1050mm
シート高	685mm
最低地上高	135mm
重量	71kg
最高速度	50km/h
舗装平坦路燃費	85km/ℓ / 30km/h

制動停止距離	4m / 20km/h
エンジン	クランクケースリードバルブ
排気量	49cc(40×39.7mm)
圧縮比	6.6:1
最高出力	3.5ps / 5000rpm
最大トルク	0.55kg-m / 4000rpm
始動方式	キック
燃料タンク容量	2.9ℓ
オイルタンク容量	0.6ℓ
潤滑方式	オートループ
バッテリー	6V4AH
キャブレター	VM14SC
クラッチ	湿式多板式
一次減速(比)	キヤ(3.578)

二次減速(比)	チェーン(2.000)
変速機	ロータリー式4段
変速比1速	39/12=3.250
変速比2速	34/17=2.000
変速比3速	30/21=1.428
変速比4速	27/24=1.125
タイヤ寸法	前後とも4.00-8.4PR
ブレーキ操作	前/手動・後/足動ドラム式
懸架緩衝装置(前)	テレスコピックオレオ
(後)	スイングアームオレオ
フレーム型式	鋼管オープン式
ヘッドランプ	6V 15/15W
テール兼ストップ	6V 3/10W
フラッシャーランプ	6V 8W

キビツとした走りの

# chappy

チャピイ



カラー／チャピイレッド



カラー／チャピイエロー

# 決め手

## RD 50 (シルバーダスト) (アイビーグリーン)

としてみっとも充実した内容をもつものであるからです。

トルクインダクションのエンジン、リターン式5速のミッション、ダブルクレードルのパイプフレーム、スリムな燃料タンク、テールアップのロングシート、そしてスピード、タコの二連セパレートメーター。まさにスポーツ仕様満点の設計に、50ccクラスとしては初めてのオイル・ディスク・ブレーキが前輪に装備されました。

RDイズ2サイクルの仲間に加わった『ヤマハスポーツRD50』。いまもっとも売りやすい50ccクラスにあって、いっそう売りやすさを増しての登場です。





# オイル・ディスクが ヤマハスポーツ



数ある50ccクラスの中でも、もっともスポーツ性の高いロードモデルとして巾広い需要層から支持されている「ヤマハスポーツ50」に、前輪ブレーキを油圧式ディスクとした新商品『ヤマハスポーツRD50』が登場しました。昨年秋の自動車ショーに参考出品として展示、身近な話題として若いファンの注目をあつめたニューモデルです。

## 50ccでオイルディスク付はヤマハのみ

2サイクル・スポーツ車の代名詞ともなっているRD、今回新発売の50は型式名にこのRDをかぶせました。これは、『ヤマハスポーツRD50』が、このクラス

カラー／シルバーダスト



### 主要諸元

全長	1825mm
全巾	710mm
全高	990mm
シート高	730mm
軸間距離	1185mm
最低地上高	150mm
車軸重量	74kg
最高速度	95km/h
舗装平坦路燃費	80km/ℓ(30km/h)
登坂能力	18°
最小回転半径	1800mm
制動停止距離	4m(20km/h)
エンジン	2St.トルクインダクション

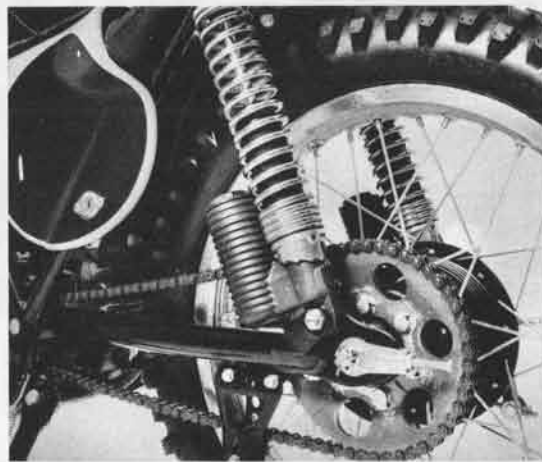
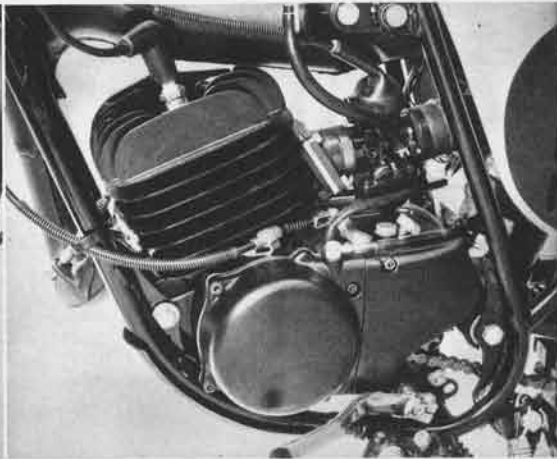
排気量	49cc(40×39.7mm)
圧縮比	6.9:1
最高出力	6.3PS/9,500rpm
最大トルク	0.50kg-m/8,500rpm
始動方式	プライマリーキック
点火方式	マグネト
燃料タンク容量	8ℓ
オイルタンク容量	1ℓ
潤滑方式	オートループ
バッテリー容量	6V 4AH
発電機種類	フライホイールマグネト
点火プラグ	NGK・B-7HS
キャブレター	VM16SH
エアクリーナー	湿式モルトブレン
一次減速(比)	ギヤ(3.578)
二次減速(比)	チェーン(3.500)
クラッチ	湿式多板式
変速機	5段リターン式

変速比1速	39/12=3.250
変速比2速	34/17=2.000
変速比3速	30/21=1.428
変速比4速	27/24=1.125
変速比5速	25/26=0.961
フレーム型式	鋼管ダブルクレードル
キャスト	62°
トレール	85mm
タイヤ寸法(前後)	2.50-17/4PR
ブレーキ(前)	油圧式ディスク
ブレーキ(後)	機械式ドラム
懸架緩衝装置(前)	テレスコピックオレオ
懸架緩衝装置(後)	スイングアームオレオ
ヘッドランプ	6V 15/15W
テール/ストップ	6V 3/10W
フラッシャーランプ	6V 10W
パイロットランプ	6V 1.5W

さらに  
リキを増した



ヤマハYZ125



日本のモトクロスから世界のモトクロスへと大きく市場を拡大してきて  
いるヤマハの最新鋭モトクロス『ヤマハYZ125』をお届けいたします。

## 高速域の パワーをアップ

一見してお分かりいただけますように、このYZ125は、昨シーズンまでワークスの分野にあったものと同等のデザインをもつものであり、MX125にくらべ高速域の性能を一段と強化したものであります。

すなわち従来は、チューニングアップ用としてオプションパーツとなっていたアルミ・クロームメッキ・シリリングを標準組立てとしており、高速域でのパワーがさらに大きくひきだせるものとしています。

これにより、従来は性能的に乗りこなしてきたテクニシャン・ライダーにも、さらに手応えのある性能をもつものとなりました。

またYZの新型式名の採用により、燃料タンク形状およびグラフィックを一新し、エンジン部、前後輪のハブをブラック仕上げとして迫力あるデザインとしています。

そのほか、アルミリムは前後輪とも断面形状をE型とし、泥はけのよいものとなりました。

### 主要諸元

全長	2015mm
全巾	925mm
全高	1100mm
シート高	805mm
軸間距離	1345mm
最低地上高	260mm
車軸重量	80kg
制動停止距離	15.6m (50km/h)
エンジン	2St.トルクインダクション
排気量	123cc(56×50mm)

圧縮比	8 : 1
最高出力	23PS/10,000rpm
最大トルク	1.65kg-m/9,500rpm
始動方式	プライマリーキック
点火方式	C. D. I.
燃料タンク容量	5.5ℓ
潤滑方式	燃料混合式(15 : 1)
発電機種類	内転式マグネター
点火プラグ	標準・B-9EV
キャブレター	VM28SC
エアクリーナー	湿式モルトプレ
一次減速(比)	ギヤ(74/19=3.894)
二次減速(比)	チェーン(標準47/14=3.357)
クラッチ	湿式多板式
変速機	5速リターン式

変速比1速	34/12=2.833
変速比2速	31/15=2.066
変速比3速	29/18=1.611
変速比4速	25/19=1.315
変速比5速	24/21=1.142
フレーム	高強力鋼管ダブルクレードル
キャスト	60°
トレール	140mm
タイヤ寸法(前)	2.75-21-4PR
タイヤ寸法(後)	3.50-18-4PR
ブレーキ前後	機械式ドラム
懸架緩衝装置(前)	テレスコピックオレオ
懸架緩衝装置(後)	スイングアームオレオ
	(サーマルフローショック付)



# 寄り合いでコミュニケート

新潟県新井市上町 株式会社 矢崎商会  
代表取締役 矢崎 清和氏



矢崎商会オールスタッフ。全員健康にして性格明朗。街の人の“足”を供給する老舗のスタッフとして、誇りに輝いています。

日本海に沿って南北に長い新潟県。その新潟の長野県との県境に近い新井市は、とても雪深いところです。11月に入れば、もう雪の季節。常時一〜二メートルも積雪するというこの街も、街道筋は除雪車が出てアスファルトの道は快適、商活動にさしたる影響もなさそうです。

市内の人口は約三万。大半は半農半商で通勤用にメイトクラスの需要がさかんです。

近々、某エレクトロニクス・メーカーの工場進出も予定され、街は発展途上の気運にあふれています。人口は流出がみえますが、こうした工場進出、それに伴うさまざまな商活動に伴って、これからは活気にみちた新しい街づくりが進むことでしょう。

今月は、こうした希望にあふれた新井市で大正十二年以来、自転車の老舗として街の発展に、また人びとの生活に寄与してこられた矢崎商会さんをお訪ねしました。



社長夫妻。美人のほまれ高い奥さまと、お子さんも豊かに成長されて、ますますご発展。

**心訓**

「信用は無限の資本なり」  
 「笑顔で迎える感謝で送れ」  
 「奉仕を先に、利を後にす」  
 「辛い事は俺がやる」  
 「努力を怠らぬ」  
 「感情に走れば自己を失う」  
 「正直と誠実が誰にも喜ばれる」  
 「反省は前進の原動力である」  
 「物はそれを生かす人に集る」  
 「責任ある仕事をす」  
 「不平は出さぬ行を止り」  
 「私は終りまで辛抱する」  
 「仲良く働け笑って暮せ」

わが社訓。朝礼の際、反復して肝に命じます。

## 三種の商品で 販売力をシステム化

矢崎商会さんは総勢十四名。旧国道をはき  
 んで、立派なお店を両側に構えていらつしや  
 います。一方はショールームと事務室、もう  
 一方は、修理を主とした工場になっています。  
 この他にも、二本木の新国道沿いに支店を  
 出店、三人の店員さんが立派に運営してい  
 らつしやいます。

もともと自動車の老舗として名を轟かせて  
 いましたが、昭和31年からヤマハオートバイ  
 を商品群に加え、さらに軽四輪、普通車など  
 四輪車も加えるなど、時代の要請を的確にと  
 らえて、お店の繁栄を支えてきました。

11月号で紹介した新潟市・長島輪店さん  
 と同様、自転車、オートバイ、四輪車を扱う  
 このお店では、三種の商品群は、お客さまの  
 購買力をシステム化する上で、それぞれ大き  
 な役割を果たしています。自転車からオートバ  
 イへ、そして四輪車へ。これらの商品のどれ  
 が欠けても、お客さまの購買力をガツチりお  
 店につなぎとめることができません。

そして、ヤマハオートバイは、四輪車の流  
 行、バイコロジ時代など、変化する時代の  
 波をくぐり抜けて、依然、根強いファンを持

ち、お店の柱となる商品として、活躍してい  
 るのです。

## 寄り合いで 人間的ふれあいを

市内競合店は一五、六軒。しかし、何とい  
 っても大正時代からの老舗を誇り、大々的に  
 店舗を構えていらつしやる矢崎商会さんは、  
 新井市はもちろん、隣りの高田市を含めて、  
 広い商圏に君臨していらつしやいます。

さて、いづこも同じ、ここ高田市も、時代  
 の変化とともに人情も変わり、それに伴って  
 購買の傾向も変わってきています。昔のよう  
 に先祖代々お店についていたお客さんも、い  
 まは流動的。お客さんの心はつかみにくく、  
 どうしたらお店に固定できるか、大きな悩み  
 です。

矢崎商会さんは、古い老舗だけに、こうし  
 た、人の心の変化がひとしお身に沁みるにち  
 がいありません。「いまは、商売がやりにく  
 くなりました」と、社長さんも慨嘆してい  
 らつしやいました。

もつとも、矢崎商会さんでは、昔からのや  
 り方を踏襲して、依然、商圏に君臨する大き  
 な営業成果をおさめていらつしやいます。  
 そのやり方は、年一、二回の寄り合いを催



かつて国道だった通りをはさんで建つ矢崎商会さん。



(上) 主にサービス部門をうけもつお店



(左) ショールームのあるセールス部門

して、その寄り合いの場での確な情報交換をし、かつ、スキンシップによる友好関係を維持すること。

だいたい暮の頃で、一年間のご愛顧に感謝して、ちょっとした歓待をするわけですが、これがお店の販売に大きく役立っていることはいまでもありません。

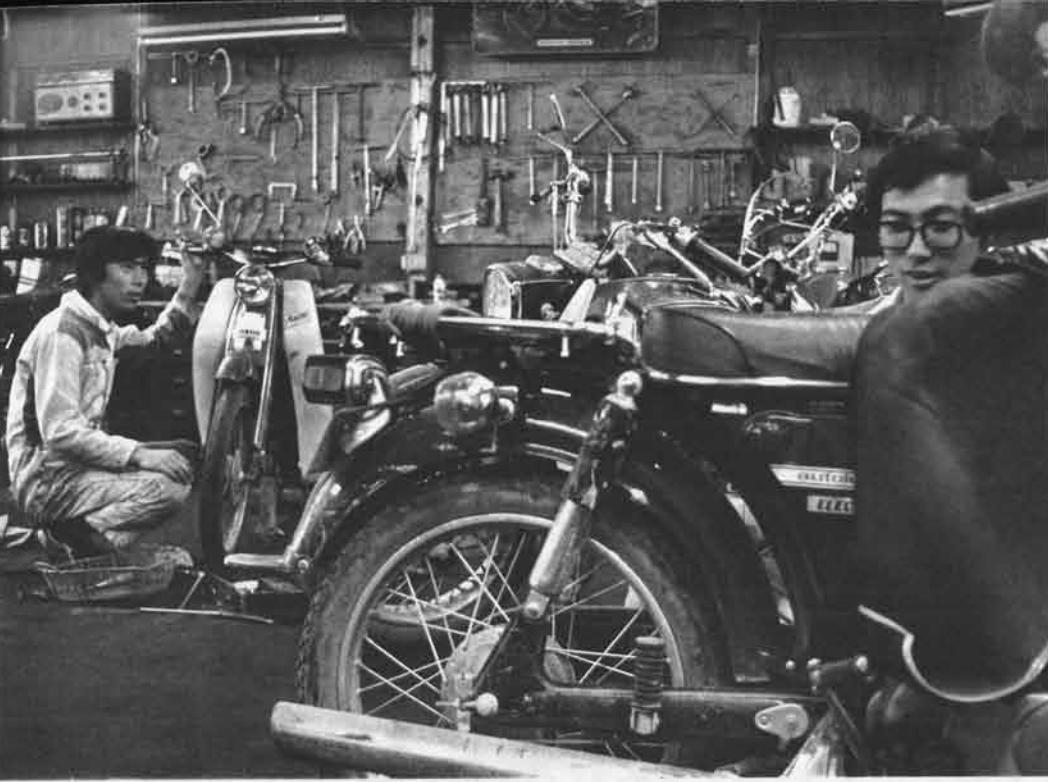
こうした寄り合いは、古くから街の交通に寄与してこられた老舗としての信用と歴史があつてこそ。ご商売を抜きにしての語り合い、同じ市内に住む人間としての悩みや抱負も話題にのぼるに違いありません。

こうしたコミュニケーションが、いま、矢崎商会さんを大きく支える力となっていることはいまでもありませんが、こうした寄り合いの場も、次第に、かつてのような力をなくしつつある、と社長さんはおっしゃいます。

## 老舗としての 責任と使命

寄り合いによる営業成果が低下するとして、何かでカバーしなければなりません。それには手取り早いPRがいちばん。折り込み、有線放送などを駆使して、商品PRにも、力を入れています。

販売にあたっては常時営業会議を開いて、



(上) ヤマハの優秀賞がズラリ。

(左) 修理工場の内部は広く、サービスは迅速、正確。

年間の、また月々の戦術をたてます。春は自転車、オートバイを主体とした販売に力を入れ、そのためのPR、催し企画を前もってたて、計画を着実に実行します。

免許教室は一五、六回も開きましたが、それは単に販売促進の戦術としてばかりではありません。人々の“足”に寄与する老舗として、“安全”を共に供給する責任感からでもあるのです。免許教室受講生の八分通りは女性と学生と

か。この人たちが必要とする“足”を、楽しく安全なものとして供給する義務があるのです。ユーザーの側に立った販売姿勢と、先祖代々きづいてきた歴史と信用の上になって、近代的な商法を折り込みながら前進する矢崎商会さんは、文字通り安定した経営を誇っています。

## 明るい店づくりで躍進

矢崎商会さんは、総勢十四人のうち、七人は修理等を担当するエンジニア。そして、社長以下専務、常務の三人が営業を担当し、常時、強力なセールス活動を行なっています。他のスタッフは、業務に欠かせない事務、集金などを担当し、総勢十四人とも、お店の繁栄に欠かせない各部署を、ガッチリ固めています。ご自分の愛娘も事務服を着て、家の仕事を助けてくれています。

顧客の定着化に悩みがあるとするれば、片や

従業員さんのハートを掴むのも、社長さんにとっては難しい仕事のひとつ。若い人たちに気分よく、しかも希望をもって働いてもらいたい、と日夜心をくだいでおいでです。

国際的にも国内的にも長い平和の時代が続いて、“緊張”を知らない若い世代は、仕事に対する姿勢にも緊張の度合がどうも……：そういった大人たちの批判や困惑は、どこの業界でも同じようです。

しかし、若者たちもいずれ年をとり、長い生活を抱えていかなければならないのです。生活設計に抱負を持ち、ささやかな業務でも責任ある姿勢を貫き通せる人間は、どんな業界でも、どんな世界でも生き抜いていけるはず。働く若い人たちに、そうした姿勢が保てるよう、明るく希望のある職場づくりを

したい——社長さんはそう考えるのです。店頭で、気軽に友人のように語り合う社長さんには、老舗を背おって立つ責任感と、多くの従業員さんの未来を背負う人としての責任感が、肩に重くかかっています。

しかし、これから躍動しようとしている街の中で、人びとはより手軽な“足”を必要としているのですし、従って市場性にも恵まれ、お店の将来はさらに重味を増して発展されるに違いありません。これからも、若いスタッフに囲まれて、どしどしお店を拡充していただきたいものです。

# ミックの『ヤマハトライアル教室』

オーストラリアといえば、ヨーロッパ、アメリカに次いでオートバイスポーツのさかんな地域です。

ロードレースを始めとして、モトクロス、エンデューロなどスポーツの種類も多彩にわたっていますが、トライアルも四年ほど前、名手サミー・ミラーが初めてここでデモンストレーションをして以来着実にファンの数を増していました。

しかし、このスポーツの人気の上昇に本格的な拍車をかけたのは、『ヤマハTY250』であり、また前ヨーロッパチャンピオン、ミック・アンドリュウス指導の下に行われたヤマハトライアル教室なのです。

## ◎熱狂的な歓迎に應えるミック

世界的なトライアルライダー来るといっただけで、現地のファンの反響は大変なものでした。

昨年12月中旬から年末にかけて行われたこの度の催しは、ヤマハと当地のディストリビューターとの協力によったもので、オーストラリア4州とニュージールランドを回ってトライアル競技会に参加すると共に『ミックのヤマハトライアル教室』を開催するというものでした。

最初の訪問地であるニューサウスウェルズ州のシドニー空港に夫人と共に降り立ったミック・アンドリュウスは、待ち構えていたたくさんの地元の人々の歓迎を受け、やテレビ局をはじめとする報道関係者に囲まれ、税関の手続きにもとまどう程の熱狂的な歓迎を受けました。

そのきさくな人柄の良さは、昨年のYGSFで日本のファンにもすっかりおなじみになっているミックですが、ここでもその旺盛なサービス精神を発揮、空港内でのプレス・インタビューが終わった後、皆の要望に快く応えて滑走路わきの広い駐車場でTY250を使って早速デモンストレーション・ライディングを披露しました。

## ◎大成功の競技会・講習会

ミックを招いて開催された競技会、講習会はどこでも大変な盛況で、競技会ではここでもヤマハに乗ったライダー達が圧倒的な強さを見せ、ブルタコを始めとする有力マシーンを寄せつけませんでした。

シドニー郊外のアマロー・パークでは、オープン参加のミックを含めて61名の精鋭を集めて、8セクションのコース、5ラップ制で行われた、ヤマハと新たに契約した地元のピーター・ペースがロスト・ポイント58の成績を上げ、2位に14ポイントの差をつけて優勝を決めました。

各セクションを大勢の観衆に囲まれTY250で競技したミックは、地元の新聞の表現を借りると「何か目に見えない力で支えられているかのように、大きな障害物を何の苦もなくひよいと乗り越え、観衆は『まさか息をのむような様子で見とれていた』のです。

## ◎貴重なアドバイスを残して

ライダーとしてばかりでなく、インストラクターとしても超一流のミックは、競技会後の講習会で様々な地形に対するテクニックを分かりやすく何回もくり返し披露した後、大勢の生徒達に次のような話を残していました。

「私はセクション通過の際に、それがどんなにやさしく見えても最も正しいラインをとるように最大の注意を払う。そしていったん一本のラインを決めてからでも、そのラインがもしも不適当な場合には直ちに変更出来るいま一つのラインをみつめておくようにする。

次に重要なことは、スロットル操作によるロード・グリッピングの仕方をマスターすることによりホイール・スピンを避けるようにすることである。」

こうして『ミック・トライアル教室』は行く先々で大成功を納め、トライアルの普及と同時にヤマハ・トライアルマシンのPRに大いに貢献していました。

この『ミック・トライアル教室』はオーストラリアのマス・コミにも大々的に報道され、ある新聞には次のような見出しが載っていました。

『神は世界を創造し、レオナルド・ダ・ヴィンチはモナ・リザをこの世に送り出し、そしてミック・アンドリュウスはオーストラリアのトライアルを演出したのである。ミックはトナカイならぬ二輪車に乗ってやって来たサンタクロースだ。』



# オーストラリアでも大評判



熱狂的なファンの歓迎をうけたミック選手。



▲上はミック先生。  
下はツーヤングのミス生徒。  
◀たいへんなギャラリー  
をあつめての競技会。



ご満悦

マイケル君  
+  
MX250

イボンヌ・デ・カルロといえば有名な銀幕のスター。

最近息子のマイケル君（十五才）を伴ってニュージージーランドに仕事にやってきましたが九才のときからオートバイに乗っているというマイケル君は、早速ヤマハの代理店からM

X250を借り出して試乗を楽しみました。

「すごいクルマだ」というのが彼の印象でしたが、自宅の裏に六エーカーもの専用スクラップルコースを持っているというオートバイファンであるこの少年のハートをヤマハがすっかりキャッチしてしまったようです。



タイトル防衛に意欲まんまん。左がケント、右がハカンの両アンダーソン選手。



これはちょっとお目にかかれないシーン。RR、MX両レーサーの同時スタート。

# セイム・セイム ふたりの ワールド チャンピオン

昨年の125cc級ロードレースのワールド・チャンピオンがケント・アンダーソン。そして250cc級モトクロスのワールド・チャンピオンがハカン・アンダーソン。

ふたりは兄弟でも、親せきでもありませんが、名前が同じだという以外にいろいろと共通点があります。まず二人ともスウェーデン人で、しかも同じ町の出身、そして専門分野はちがいますが、ともにこの道に入ってから10年目でワールド・チャンピオンとなったのです。しかもマシンは両方もヤマハ。モータースポーツ史上、こんなにも共通点をもったふたりのチャンピオンが出たのは初めてのことです。

年令はケントが兄貴分で31才、ハカンは29才。いずれもタイトル防衛には強烈な意欲を燃やしています。



公認

日本で最初、ただ一つの二輪車専門の指定自動車教習所です。原付免許教室をはじめ、二輪限定免許、二輪免許の実技試験の免除もうけられ、専門のインストラクターによる安全運転の指導もっております。どうぞご利用ください(定休・水曜日、木曜日)



テクニカルセンター 磐田

〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎(05383) 2-1111

## ヨーロッパ走りある記⑤

♡♡♡ 佐納たかこ



今回で私のつたないレポートは終りです。スイスからイタリア、フランス、ポルトガルそしてフランス、イギリス、ベルギー……とお訪ねしたヤマハインポーターでのお話をとりまとめました。みなさまのご商売のご参考に少しでもお役に立てれば願ってもない幸せです。それにしても、この旅を通じて素人の私が最も感じたことは「オートバイという乗り物のなんと安全なこと、快適なこと」でした。



スイス↓イタリア↓フランス

## 厳しい環境下でも商売拡大

ザルツブルグで永ながとお世話になったロチェルド氏に別れを告げ、一路チューリッヒからローザンヌ、ジュネーブと美しいスイスの自然の中をツーリングしてスルーシーへ。ここにはスイスのヤマハインポーター・ホステットラーAGがあるので。

このホステットラー氏には三人の弟さんがいて、それぞれチューリッヒ店、ワークショップの責任者、彼の秘書を受け持っている。

さてホステットラー氏によるスイスのモーターサイクル事情と氏の所感は一

「なかなか厳しい」というのが実感。免許制度からして、十四才になれば三〇キロ/時の制限のみでモベットに乗れる。ここまでは他のヨーロッパ諸国と大差ないが、十八才になりオートバイを……という段になると、まず二百間のペーパーテストを受け、パスすると四週間スクールに通って、やっとライセンスが得られるというほどです。

一方、ご商売の方でも物価の上昇とともに関税、保険料その他もうなぎ昇り、またオートバイの使用時期も六〜七月に限られ、商売の八十五〜九〇%をこの短期間に決してしまわなければならないというハンデ付です。

しかし、こんな中で70年には七〇〇台だった売上げを、71年には千台、72年には二二〇〇台と伸ばし、74年には日本製マシンの売上げトップに立つだろう……と、もの静かな瞳に激しい闘志をみなぎらせて語る、この三十九才の経営者ホステットラー氏には、ヤマハファンの一人として大いに頼しく感じたものでした。



カンヌのディーラーM・ジョアンニのワークショップでRD350のチェックを受ける。



いかにもイタリア人的なタルターニ氏。



ヤマハのニューモデルがずらりと並ぶホステットラーAGのショールーム。



ポルトガルに限らずヨーロッパはどこもオートバイ愛好者の年齢層が広い。(モトベサスで)



26才の若さでモトベサス社を切りまわすピント・ソエロ氏。

イタリアで「イタルジェットCo」といえばモベットや軽排気量車、子供用ゴーカートで有名ですが、同時にここはヤマハのインポーターでもあるのです。

社長タルターニ氏（ちょうど私の会見した日が四十一回目の誕生日）は、十五年前に175ccバイクで世界一周をしたという人です。

氏によると、「独、英、仏とならぶ有力なオートバイ生産国イタリアでは、輸入が許可されているのは大型車のみ。当然社のメインも六五〇cc」とのこと。陽気なイタリア人らしく静かに語るよりは、活発に動きまわる方が：という氏からは、ついにこれだけ何うのがやつとでした。

イタリアからはフランスへ、まずカンヌの販売店「ムッシュ・ジョアンニ」を訪ね、マシンのチェックをお願いし、終日やってくるユーザーでこつた返す店頭で、たくさんの人たちとワインガー・トークで歓談。ここでも英語の全く分からないヤングたちが「イツァ、ベターマシンの」の合言葉を交し合って、ヤマハの人気のほどを教えてくださいました。

### スペイン↓ポルトガル

## いずこも同じ大排気量化の傾向

イタリア以来のむせ返る暑さと、軒並み工事中の悪路をモトクロス並みの必死のライディングでスペインを駆け抜けポルトガルへ。抜けるような空の碧と、美しい街並に嬉々としながらまっすぐリスボンのインポーター「モトベサス社」をおたずねしました。

二十六才の若き社長ピント・ソエロ氏（当社は彼と他の二人の共同経営）ひきいるモトベサス社は、'71年からヤマハを始め、'72年には七百台を売っているという素晴らしいです。数多い日本製マシンの中でトップを行くヤ

マハの内容は、一二五、二〇〇、三五〇が八〇%を占めていますが、ユーザーはじょよに大型嗜好の傾向にあり、大半が二〇才前後用途は実用、逆にトレール車に三〇〜四〇才のお客さまが増えつつあるとのこと。

私が当社のワークショップでマシンチェックをしていたら、ちょうど愛車XS650Eで乗りつけてこられた、三十八才の社長さんは、大のオートバイファン、どこへ行くにもオートバイで、休日には夫人をリアシートに乗せ、郊外に遠出をするというのですから嬉しいではありませんか！

十二才からほとんどの人が働きに出るといいうポルトガルで十六才から自立したピント・ソエロ氏も気骨の人、将来のオートバイ販売業務拡張にも静かながままんの情熱をみせてくれたものでした。

### フランス

## オートバイの軽快性を生かすパリジャンたち

再び始まった永いながいツーリングの後再度希望のフランス入り。

しかし、ここパリもくもの巢のように張りめぐらされた大路小路が分りにくく、大会社ソノートを探すのにパリを半周。でも、さすが年間一万台以上を商うソノート社だけあって立派な構え。

明晰な秘書シルビア嬢の通訳を介して、オリビエ社長に伺ったフランスのオートバイ事情は、つぎのようです。

メインは、一二五ccスポーツ（三十八%）、ついで一二五ccトレールと三五〇ccスポーツ（各十五%）で、総売上げの七十五%を占めているとのこと。

また地方都市と異なりパリの交通ラッシュは世界的に有名。この混雑に打勝つ方法に賢



パリの大インポーター、ソノートのオリビエ社長。



街大きな伸びを示すベルギーでのヤマハ、ファイティンばいのティエルマンズ社長。

(7)三井ロンドンの社長室で五置社長(右)からオートバイ王国イギリスの現情を伺った。



明なパリジャンたちは、オートバイを選んでいるというわけで、六〇才をすぎた立派な実業家がT X 750にうちまたがり、あの凄い雑踏の中をスイスイ……ということも珍しくはないそうです。

では、こんなフランスの免許制度はというと——モペットは十四才以上で免許不要、十六才になると五〇—一二五ccのライセンスが取得、十八才以上ではじめて一二五cc以上の免許が取得できるのです。

それにしても、パリの美しい街並の中を色とりどりのモペットにまたがり、金髪をなびかせて走りまわるマドモアゼルの何と多いことノ男性ならずとも楽しい光景です。

### イギリス→ベルギー

## アフターサービスに絶対の自信

いよいよイギリス、ロンドン郊外のヤマハインポーター「三井ロンドン」へ直行。海外生活二十余年という玉置氏と、日本から来た石坂氏にユナイテッド・キングダムズのオートバイ事情をつぶさに伺いました。

五百軒近いディーラーを有する三井ロンドンの販売実績は、昨年の一ヶ月八月までで一万九六五〇台、うちFS1Eが一万台を占めているそうです。それにしても凄いです。ありませんか!? BSA、トライアンフ、ノートンと自国製品のひしめくからです。用途は実用、レジャー半はんとのこと。

この免許制は、十六才で誰れもがモペットに乗れ、十七才でオートバイ免許が取得、しかも五〇ccから七五〇ccまで同一免許というものです。

この後、このサービス・マネージャー・ハミルトン氏のご紹介でイギリス最大のディーラー「ダマレル社」をお訪ねしましたが、さすが年間八百台もの実績を誇るだけに自信

満まん。特にアフターサービスでは、絶対の自信の程を話してくださいました。

とうとう最後の目的地ベルギーへ。インポーター「ティエルマンズCo」は古都ゲントの市街地にあります。

ここは、さらに小さい国だけに販売台数そのものは73年で五千台ということですが、'67年に初めてヤマハを手がけた時は、わずか三二台だったそうですから、その伸び率の凄いこと。ベルギーでも日本製マシンが八〇%をしめているとのこと。

ベルギー出発の朝、ティエルマン氏宅に招かれた私は思いもかけずヤマハエレクトロニで社長みずから奏でてくださった「慕情」「別れの曲」「螢の光」の曲に送られ、思わずあふれ出た涙がいつまでもとまらず困ったものでした。

## ヨーロッパ二万キロの旅を終えて

以上で、五回にわたってお届けした私の拙いレポートは終わりますが、お店のみなさまには、ヨーロッパ各地のディーラー等の立地条件、ディスプレイ等に興味をお持ちの方も多いことでしょう。

いづれも、市街地を外れた所に大きい販売店が多く、店の総面積の半分以上をワークシヨップに当てているのがほとんどでした。そして、そんな店のみなさんが異口同音におっしゃったのは「アフターサービスを充実しなければ、まず商売は失敗」とのこと、なるほどいずれも意外なほど多くのメカニックの方がおられたものです。

最後に、三カ月半、二万キロの私の旅にひとかたならぬご支援をいただいた、日本のそしてヨーロッパの非常に多くの方がたに誌面を借りて心からのお礼を申し上げます。

# ビジネスに、レジャーに ヤマハオリジナルウェアをどうぞ

仕入れ価格およびご注文は担当のセールスマンにおたずねください。

**NEW**

## ウィンタービジネスルック



品番 90890-59351 Mサイズ(紺)  
90890-59352 Lサイズ(紺)

特徴 防水、防寒性に富んだヤマハオリジナルの新しいツナギ服です。ナイロン製で、しなやかな持ち味は運動性も良好。色は紺。フードはスタンドカラーに収納され、スマートなスタイルをつくります。



**NEW**

## キルティングコート

品番 90890-59135 Mサイズ(赤)  
90890-59136 Lサイズ(赤)  
90890-59137 Mサイズ(紺)  
90890-59138 Lサイズ(紺)

特徴 若者向けのスマートなコート。キルティング仕上げですので軽く、あたたかく、防水性にも富んでいます。フードはスタンドカラーに収納されており、ストライプ入りのしゃれたデザインは、タウンウェアはもとよりスキーなどレジャー用にもぴったり。カラーは赤と紺の2色です。



さらに3機種を追加しました

# PEUGEOT



プジョー・フランス

ご好評いただいておりますプジョー・フランスに、このたびさらに新しいモデルを追加しました。お店の業績アップに、新しいお客さまの開拓に大きく役立つ魅力の商品をご紹介します。



## PL25 (カラー/ブラウン・レッド)

乗りやすさにマトをしぼって、女性のために特に設計された軽快車。スマートなチェンガード、前照灯と連動して点灯する尾灯など、安全性にも特別な気を配っております。

- プジョー特製フレーム●アタックス製ハンドル●ユーレイ製ウィングナット●ベレーブルクィーン製センターブルキャリアブレーキ●レオタード製66Rペダル

## J50 (カラー/ホワイト・ブルー・レッド)

サイクリングやツーリングに文字どおりぴったりのスポーツ車。悪路にも強くつくられた頑丈なフレーム、軽快なペダリングが最高度楽しめるハンドルバーがポイントです。

- 外装5段サンプレックス製パンタグラフ式(46、14-16-18-20-23)●20 $\frac{1}{2}$ -26×1 $\frac{1}{8}$ ●ジュニアレーシングハンドルバー●レオタード製77Rペダル



## UE18 (カラー/ダークブルー)

乗り手をグーンと広げる新しいタイプのスポーツ車。サイクリングはもとより、ツーリングにもつよい乗りやすさをもったミキスト型フレームがポイント。10段変速ギヤ付です。

- ミキスト型520mmフレーム●27×1 $\frac{1}{4}$ ●外装10段サンプレックス製パンタグラフ式●マファックス製センターブルキャリアブレーキ●前後輪クイックリリース式ハブ

